

田村市里山再生モデル事業の概要

モデル事業の目的

- 登山者や地域住民の安全・安心に向けた環境づくり
- 事業成果について原子力災害を受けた里山の再生に寄与

モデル地区概要

- モデル地区：五十人山（田村市都路町岩井沢字持藤田地内ほか）
- 区域面積：約37haうち全域森林（国有林）

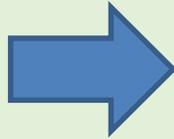
事業の内容

除染（R1年度）

- 山頂広場19,600m²の堆積有機物除去を行いました。



除染実施前



除染実施後

森林整備（R1年度）

- スギ・ヒノキ人工林の間伐（間伐率29%、1.33ha）を実施しました。国有林において、植栽木の生長を阻害している樹木や価値の見込めない植栽木を伐採し、植栽木の成長を促す間伐を実施しました。



実施前

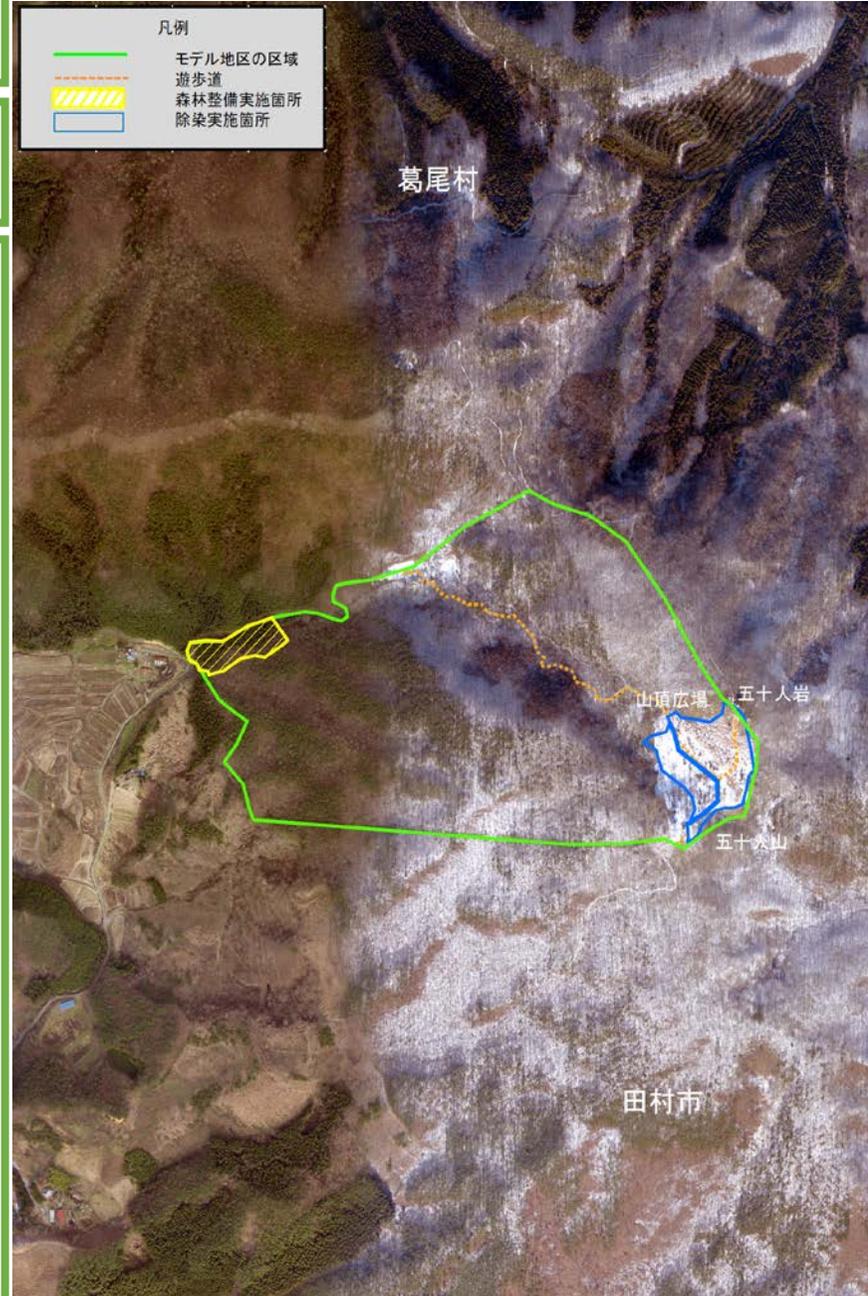


実施後

線量測定（H30～R1年度）

- H30からR1にかけて毎年モデル地区内の空間線量率を測定しました。（メッシュ測定：21（メッシュ数）、遊歩道等の歩行サーベイ：約603m 等）
- 空間線量率の測定にあわせて個人被ばく線量を測定しました。

<モデル地区の概況図>



田村市モデル事業の結果

除染の結果

○空間線量率（高さ1m）の平均値（単位：μSv/h）

	除染前	除染後	低減率 (物理学的減衰率)
	H29年4月	R1年12月	
①～⑬平均	0.82	0.59	28% (22%)

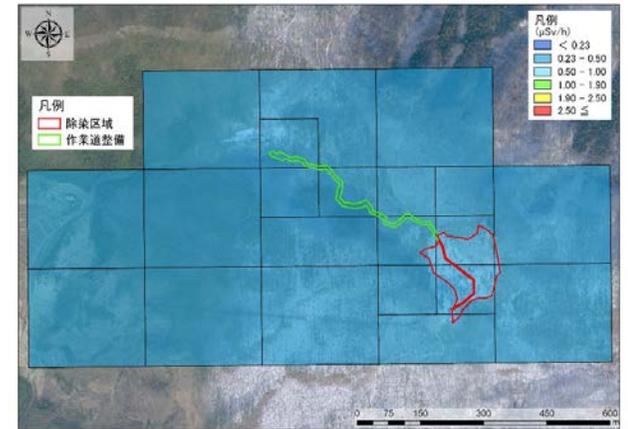
山頂広場
(比較的放射線量が高い13カ所)



線量測定の結果

※空間線量率は実測値を基にR1年8月1日を基準日として算出

【メッシュ測定】
地区平均(地上1m)は
0.34 μSv/h、最大値
は0.44 μSv/h、
最小値は0.28 μSv/h
でした。



【歩行サーベイ】
平均は0.27 μSv/h、
最大値は0.77 μSv/h、
最小値は0.14 μSv/h
でした。



【個人被ばく線量】

市役所へのヒアリングを行い、想定される利用形態（滞在時間151分）を設定し、個人被ばく線量を測定しました。その結果、1回の利用に伴う個人被ばく線量は、0.0007mSv (0.7μSv) でした。

※胸部X線検査1回あたりの被ばく線量は0.06mSv (60μSv)

森林整備の結果

○間伐等の実施により、森林内の地表面に光が届くようになり、下層植物の繁茂が見込まれ、表土の流出を抑制する効果や、根が土壌を保持する力が向上することによって、水源涵養機能、山地災害防止機能等の発揮が期待されます。

○登山道に続く市道沿いの森林を整備したことで景観が向上し、登山道まで快適なアクセスが可能となり、安全・安心・快適に散策できる森林空間に変化しました。

モデル事業の効果

- 除染によって線量が下がったことなどにより、登山者や地域住民の安全・安心に向けた環境づくりに寄与したと考えられます。
- 除染と森林整備を一体的に実施することにより、快適な森林空間を創出し里山の再生に寄与したと考えられます。